【国見学園アクティブプラン】

2017

「自ら学び、心豊かでたくましく、郷土を愛する国見の子の育成」３つの柱・９項目の評価シート

【 県 北 中 学 校 】

	確かな学力をはぐくむ			心身の健康をはぐくむ			郷土愛をはぐくむ		
	家庭学習の習慣化を図る	保・幼・小・中の学びをつなぐ	国際理解教育の充実	読書の習慣化を図る	「早寝・早起き・朝ご飯」運動 「あいさつ運動」	体力の向上 食育の充実	「ふるさと国見」を学ぶ	子どもと地域の人々とのつながりを深める	子ども同士のつながりを深める
めざす子どもの姿等 達成規準	基本的な学び方がわかり主体的に学ぶ生徒	多様な体験や学習経験を通して、確かな学力を身につけた生徒	国際化に対応できる国際的な感覚を持った生徒	読書を通して､自分を磨き､豊かな人間性を育む生徒	基本的な生活習慣、社会性を身につけた生徒	健やかな体をそなえた生徒	国見のよさを発信できる生徒	地域から愛され地域を愛する生徒	交流活動を通して、自身の成長に気づき、感謝の心が持てる生徒
達成基準	・学年×１時間＋１時間家庭学習を行っている。 ・自ら学び、自分なりの学習スタイルを確立している。	・自ら課題を見つけ主体的に学習ができる。 ・根拠をもとに自分の考えを表現できる。	・自己の目標を持って英語研修に参加できる。 ・英検に積極的にチャレンジする。	・朝読、家読の習慣が身についている。 ・月間４冊（週１冊）の本を読む。	・基本的な生活習慣を身につけている。 ・時と場に応じて適切なあいさつができる。	・運動の楽しさがわかり、進んで体力の向上に取り組んでいる。 ・望ましい食習慣が身についている。	・町の文化財や伝統、産業について理解している。 ・郷土に愛着を持ち、そのよさを他者へ発信できる。	・地域の行事に積極的に参加する。 ・地域の方との交流を通して、共同体意識を持つことができる。	・交流活動で幼児や小学生の世話を進んで行う。 ・自身の成長に気づき、周りの方へ感謝の気持ちを持つ。
具体的な実践 手立て	・家庭学習の手引の活用 ・定期テスト学習計画の作成 ・二者面談による学習相談 ・学習アンケート ・柏葉ノートの活用	・アクティブラーニングによる授業の構築 ・定着確認シートの計画的な活用 ・ＩＣＴを活用した授業の推進 ・生徒の夢を大切にした進路指導	・英会話研修（２年） ・ブリティッシュヒルズ英語研修（３年） ・英検の受検奨励と支援 ・英語コーナーの活用	・朝読 ・家読 ・図書室の整備 ・読書フォーラム	・朝食摂取調査 ・生活アンケート調査 ・あいさつ運動（生徒会執行部、規律委員会） ・自己の生き方を考える道徳の授業の推進 ・スマホ利用宣言の遵守	・運動量を確保した体育の授業の充実 ・部活動の充実 ・食育指導（栄養教諭）	・職場訪問（１年） ・職場体験（２年） ・平泉学習旅行（１年） ・仙台学習旅行（２年） ・関西修学旅行（３年） ・社会科（地域素材）	・柏葉祭 ・義経祭り（１年、吹奏楽部） ・町教育フォーラム ・町防災訓練 ・スポーツ少年団 ・老人介護施設訪問（吹奏楽部）	・幼小中一貫事業「くにみっ子まつり」 ・幼児教育実習（２年） ・新入生オリエンテーション ・サマーショートボランティア
取組の実際・子どもの変容 評定	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １	４ ３ ２ １
次年度に向けて									